

2010～2015年度の入学生用 (学部)公認心理師に必要な科目への対応表

2019.8月更新箇所

2019.7月更新箇所

公認心理師法において決められている事項		本学における対応科目						
大分類	小分類	法施行前入学生必要科目要件	公認心理師法が定める科目(予定)	2010-2015年入学生の本学対応科目				
基礎科学 科目A群	心理学 科目A群	不要	①公認心理師の職責					
		I (②～⑥): →3科目以上相当を修める	②心理学概論	心理学の総合的理解	心理学体系論	心理学の歴史	心理学入門(基礎教育科目)	
			③臨床心理学概論	臨床心理学入門	臨床心理学基礎論	臨床心理学概論		
			④心理学研究法	心理学研究法				
			⑤心理学統計法	心理統計法1・2				
			⑥心理学実験	実験心理学演習1・2				
科目B群 心理学 基礎 心理学 実践 科目	心理学 基礎	II (⑦～⑬): →4科目以上相当を修める	⑦知覚・認知心理学	認知心理学	感覚心理学			
			⑧学習・言語心理学	言語発達心理学				
			⑨感情・人格心理学	感情心理学	パーソナリティ心理学			
			⑩神経・生理心理学	認知神経心理学	生理心理学	認知・脳科学入門	認知・脳科学概論	
			⑪社会・集団・家族心理学	社会心理学	対人行動論	集団力学	家族心理学	
			⑫発達心理学	生涯発達心理学	実験発達心理学	子ども学	生涯発達・生涯教育心理学入門	生涯発達・生涯教育心理学概論
	心理学 実践	III (⑭, ⑮, ⑲及び⑳): →2科目以上相当を修める(ただし⑯は時間を問わない)	⑭心理的アセスメント	心理検査学	臨床心理査定特講1・2	臨床心理査定演習	心理検査法演習1・2	
			⑮心理学的支援法	心理療法	精神分析学	遊戯療法論	心理療法特講1・2	
			IV (⑰～⑳): →2科目以上相当を修める。 (ただし、⑰をⅤに入れる場合は、⑰～⑳で2科目以上相当を修める)	⑯健康・医療心理学	メンタルヘルス論	メンタルケア演習 (2014年度生のみ)		
				⑰福祉心理学	障害福祉心理学	介護心理学		
				⑱教育・学校心理学	教育心理学	学校心理学		
				⑲司法・犯罪心理学	犯罪心理学	社会・犯罪心理学入門	社会・犯罪心理学概論	
			関連科目	V ⑳及び㉑のいずれか	⑲産業・組織心理学			
㉑人体の構造と機能及び疾病								
㉒精神疾患とその治療	精神医学							
C 実習演習 科目	III (⑭, ⑮, ⑲及び⑳): →2科目以上相当を修める(ただし⑯は時間を問わない)	㉓心理演習	臨床心理面接特講1・2	臨床心理面接演習1・2	メンタルケア演習 (2014年度生以外)	心理療法演習1～7		
		㉔心理実習(80時間以上)	心理現場へのインターンシップ(本科目に医療機関無し)					

※各科目に対して複数の科目が対応科目として挙げられている箇所がありますが、複数の対応科目を修得していても最大で1科目でしかカウントできません。

例:在学中に「②心理学概論」の対応科目として「心理学の総合的理解」「心理学体系論」を修得した。→2科目修得していても1科目のみしかカウントできない。

※科目名の後に1・2や1～7と記載のある科目については、1か2のいずれか、1～7のどれかを修得していれば1科目としてカウントします。

※「法施行前入学生必要科目」に記載されている科目数が受験資格を得るための最低限ではあるが、国家試験を考えると、「本学における対応科目」は極力網羅しておくことが望ましい。

※「メンタルケア演習」については、2014年度入学生とそれ以外の入学生で取り扱いが異なりますので注意してください。

※2010年度以前に入学された方については、教務課心理学部担当までお問合せください。(TEL072-641-9618)